

**永平寺町学校のあり方に関する
アンケート調査（幼児園・幼稚園保護者）
【結果報告書】**

令和3年6月

永平寺町

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II 調査の結果	2
1. あなたご自身及びお子様について	2
2. 小学校について	4
3. 中学校について	12

I 調査の概要

1. 調査の目的

将来にわたって質の高い教育を提供できる社会の実現に向けて、町内の小中学校のあり方を検討するための基礎資料として利用するとともに、今後の学校の運営・管理を進めるうえで参考とさせていただくことを目的に、アンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

- 調査対象 : 永平寺町の幼稚園・幼稚園に通う児童の保護者 470 人を対象
- 抽出方法 : 該当者に対する悉皆調査
- 調査期間 : 令和3年1月
- 調査方法 : 幼稚園・幼稚園を通じた配布によるアンケート調査

	調査対象者数 (配布数)	有効回収数 -無効票数(白票等)-	有効回収率
永平寺町学校のあり方に関する アンケート調査	470	397 -0-	84.5%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表のN数(number of case)、「サンプル数」は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。

II 調査の結果

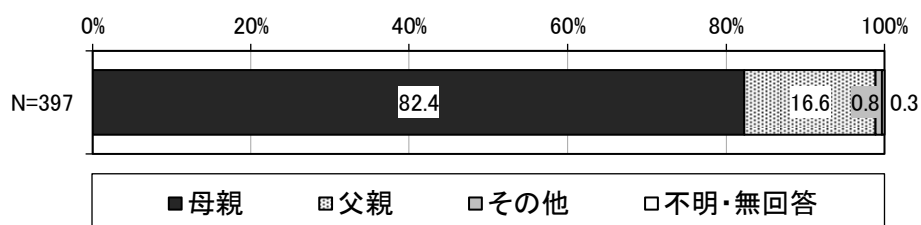
1. あなたご自身及びお子様について

(1) あなたとお子様の関係、年齢

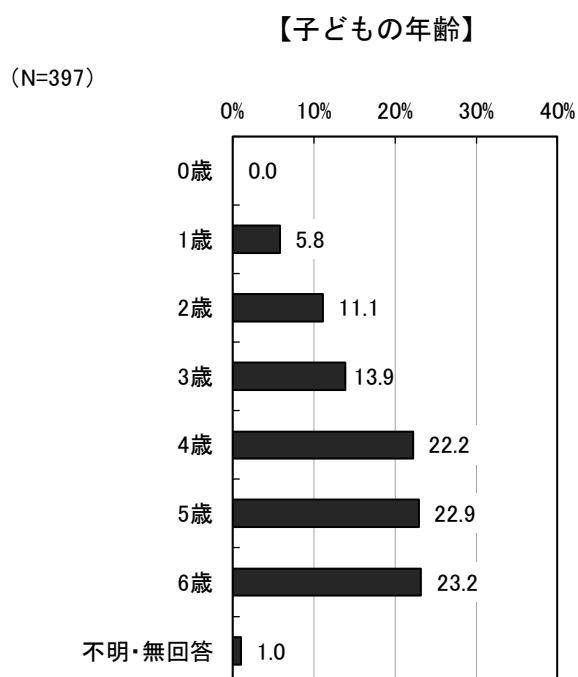
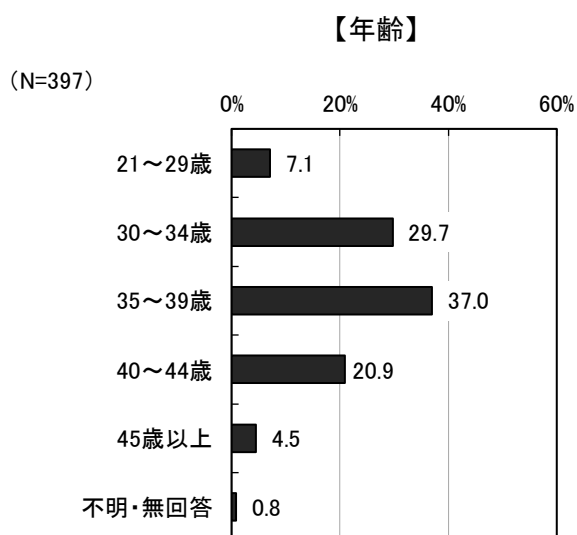
子どもとの関係についてみると、「母親」が82.4%と最も高く、次いで「父親」が16.6%、「その他」が0.8%となっています。

年齢についてみると、「35～39歳」が37.0%と最も高く、次いで「30～34歳」が29.7%、「40～44歳」が20.9%となっています。また、子どもの年齢では、「6歳」が23.2%と最も高く、次いで「5歳」が22.9%、「4歳」が22.2%となっています。

■子どもとの関係

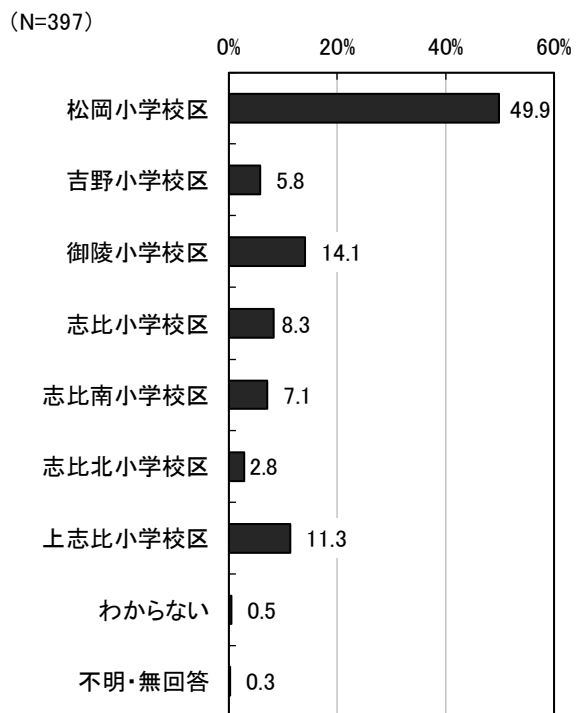


■年齢



(2) あなたが住んでいる小学校区（1つに○）

小学校区についてみると、「松岡小学校区」が 49.9%と最も高く、次いで「御陵小学校区」が 14.1%、「上志比小学校区」が 11.3%となっています。



2. 小学校について

(1) 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。その他に、保護者として小学校教育で重要視していることは何ですか（3つに〇）

小学校教育で重要視していることについてみると、「社会のマナーやルールを身につけること」が56.4%と最も高く、次いで「確かな学力を身につけること」が54.9%、「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」が50.6%となっています。

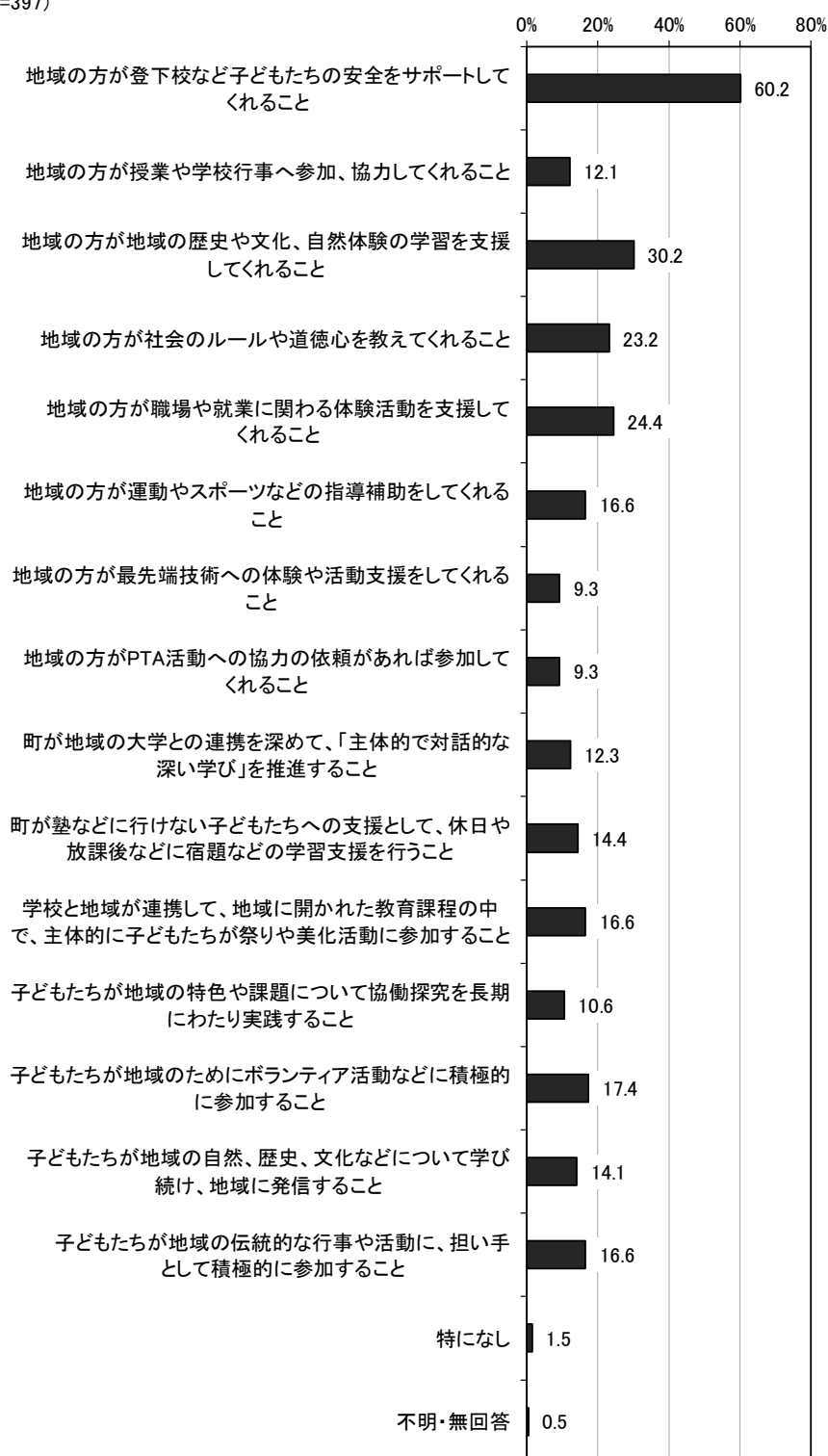
(N=397)



(2) 保護者として子どもたちと地域との関わりについて期待することは何ですか
(3つに〇)

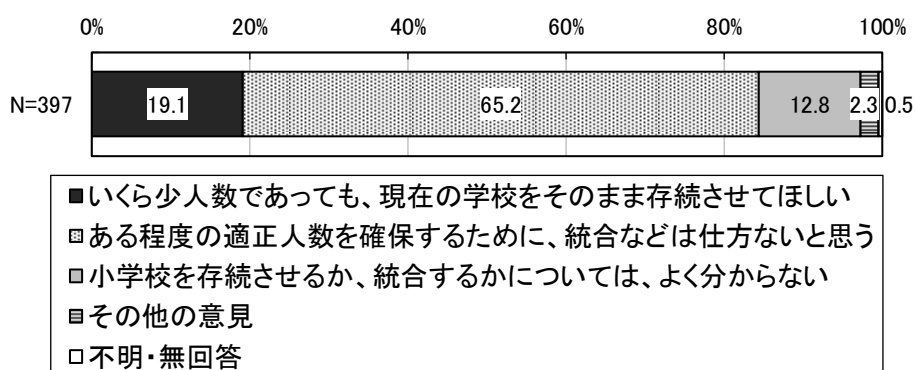
子どもたちと地域との関わりについて期待することについてみると、「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること」が60.2%と最も高く、次いで「地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習を支援してくれること」が30.2%、「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」が24.4%となっています。

(N=397)



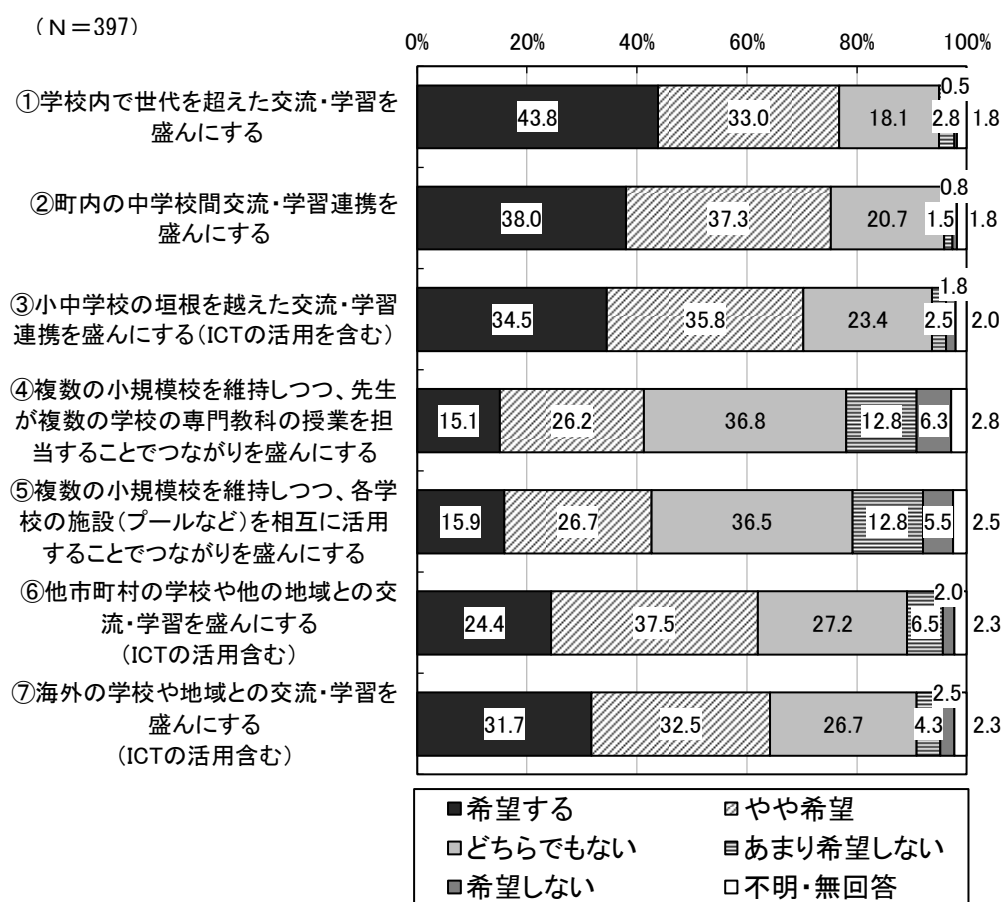
(3) 子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて（1つに〇）

廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないかについてみると、「ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う」が65.2%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい」が19.1%、「小学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない」が12.8%となっています。



(4) 将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望すること
(項目ごとに1つに○)

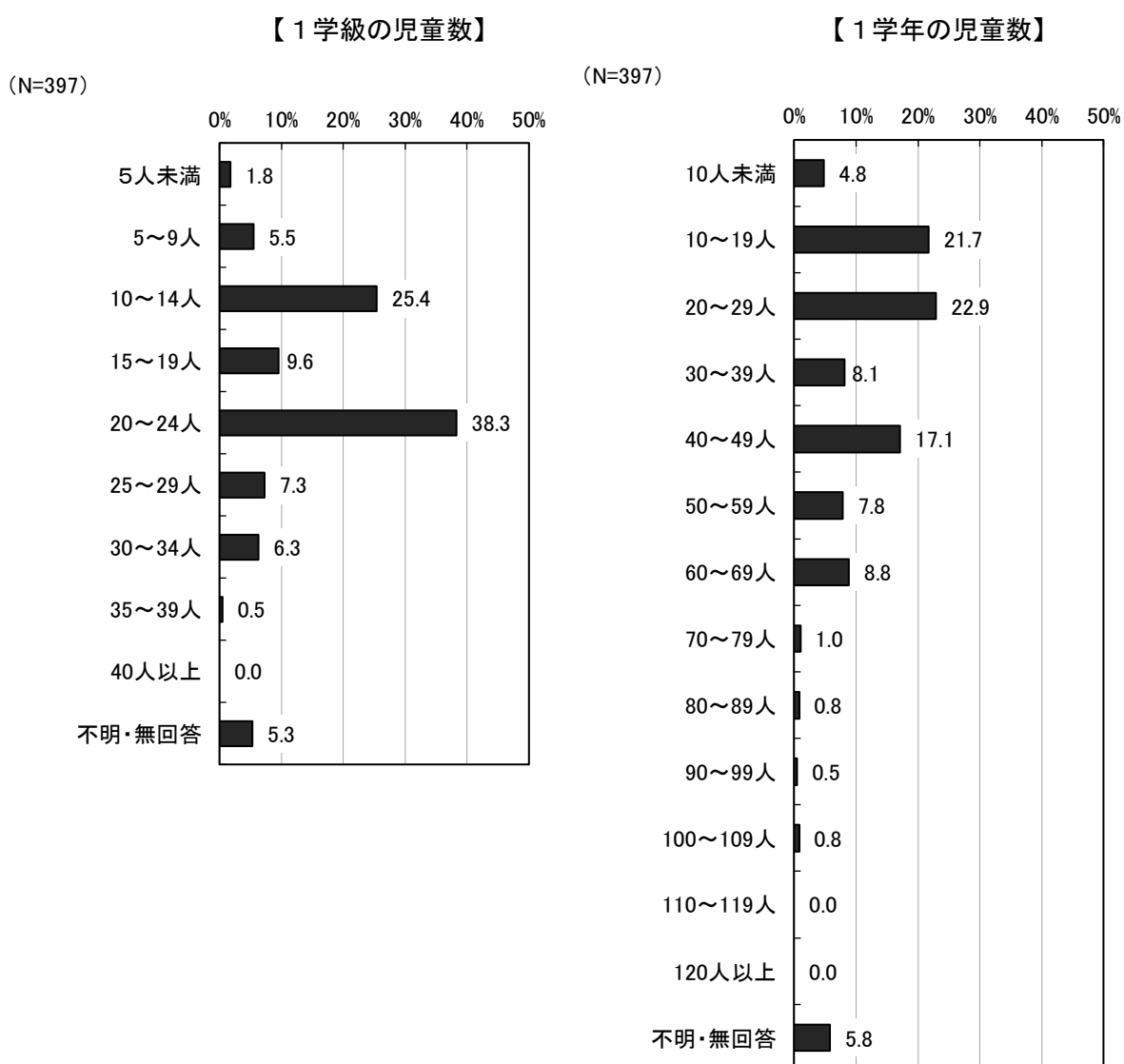
将来的に児童数が減少した際に、町の対応として希望することについてみると、希望する(『希望する』と『やや希望』の合計)では「①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする」が76.8%、「②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする」が75.3%、希望しない(『あまり希望しない』と『希望しない』の合計)では「④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする」が19.1%、「⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設(プールなど)を相互に活用することでつながりを盛んにする」が18.3%と高くなっています。



(5) 1学級の児童数・1学年の児童数について、あなたが最低限必要だと思う人数
(数量回答)

最低限必要だと思う人数についてみると、1学級の児童数では、「20～24人」が38.3%と最も高く、次いで「10～14人」が25.4%、「15～19人」が9.6%となっています。また、1学年の児童数では、「20～29人」が22.9%と最も高く、次いで「10～19人」が21.7%、「40～49人」が17.1%となっています。

■最低限必要だと思う人数



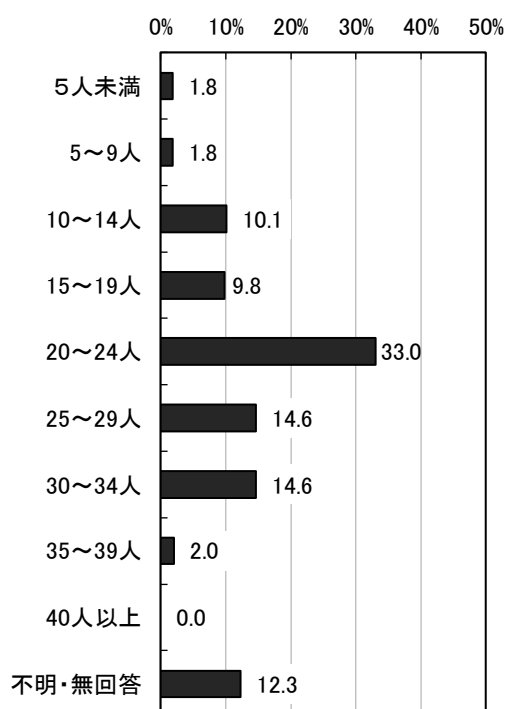
(5) — 1 1学級の児童数・1学年の児童数について、あなたが適正だと思う人数
(数量回答)

適正だと思う人数についてみると、1学級の児童数(何人～)では、「20～24人」が33.0%、1学級の児童数(～何人)では、「30～34人」が33.2%と最も高くなっています。また、1学年の児童数(何人～)では、「40～49人」が15.9%、1学年の児童数(～何人)では、「60～69人」が21.2%と最も高くなっています。

■適正だと思う人数

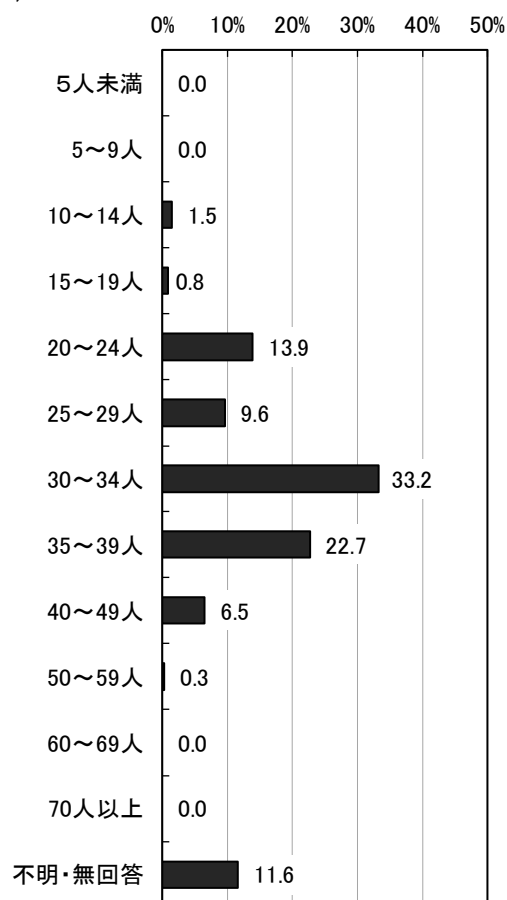
【1学級の児童数(何人～)】

(N=397)



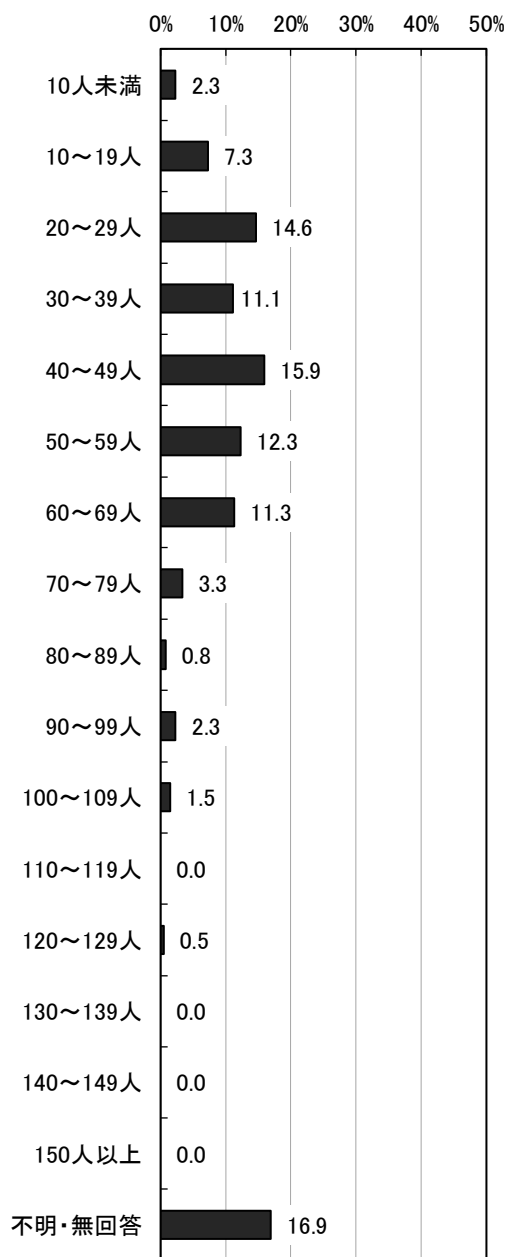
【1学級の児童数(～何人)】

(N=397)



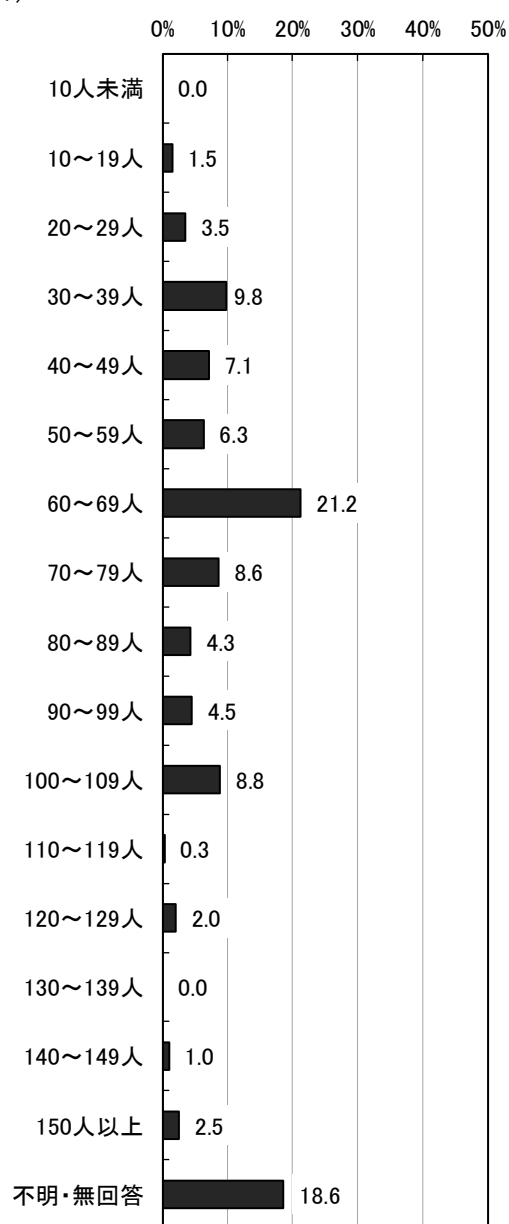
【1学年の児童数（何人～）】

(N=397)



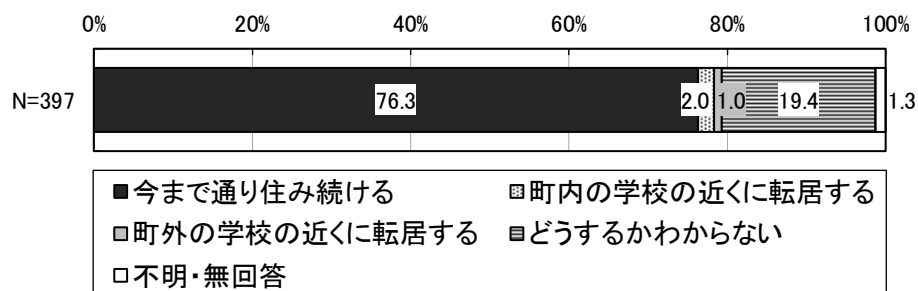
【1学年の児童数（～何人）】

(N=397)



(6) もしも、将来、お子様が通学する予定の小学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか(1つに○)

小学校が統合され、廃校、休校となった場合についてみると、「今まで通り住み続ける」が76.3%と最も高く、次いで「どうするかわからない」が19.4%となっています。

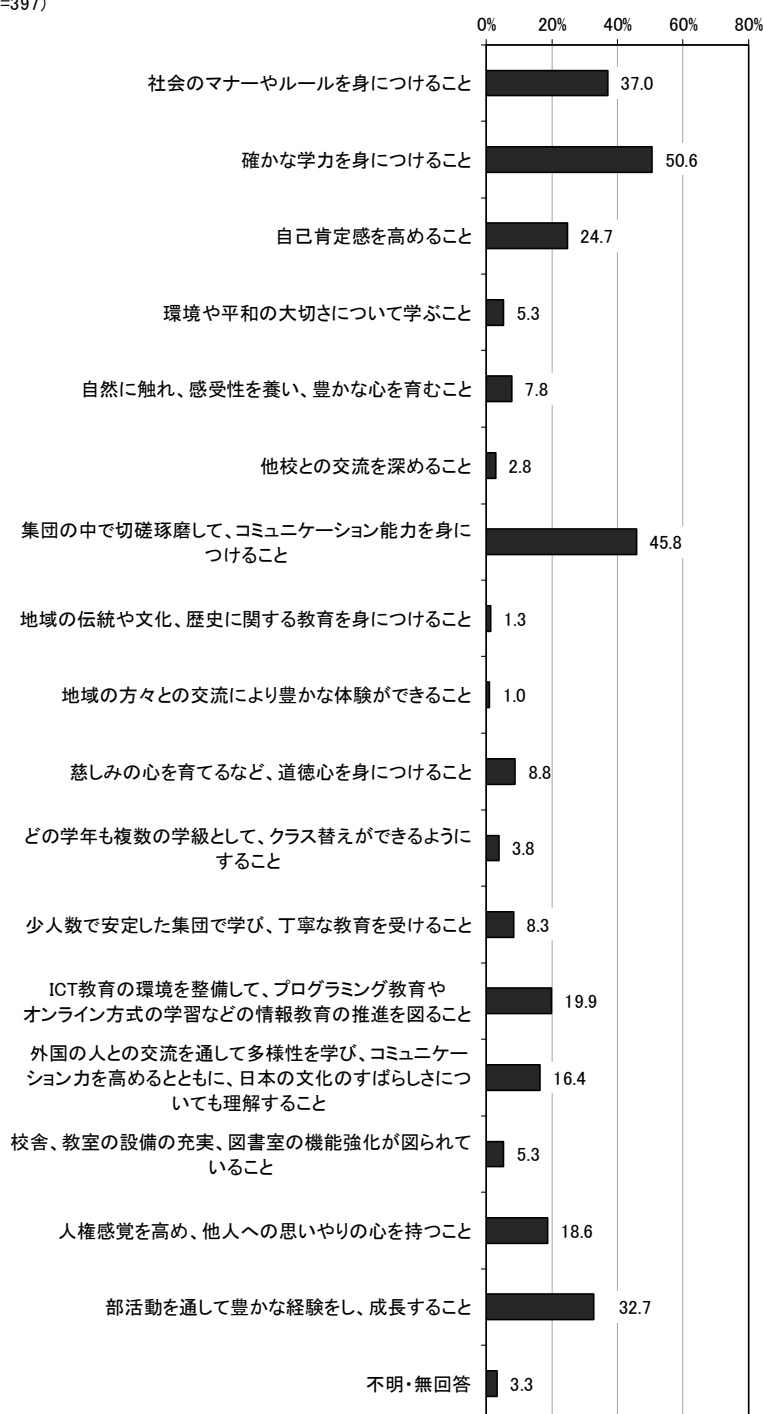


3. 中学校について

(1) 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。その他に、保護者として中学校教育で重要視していることは何ですか（3つに〇）

中学校教育で重要視していることについてみると、「確かな学力を身につけること」が50.6%と最も高く、次いで「集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること」が45.8%、「社会のマナーやルールを身につけること」が37.0%となっています。

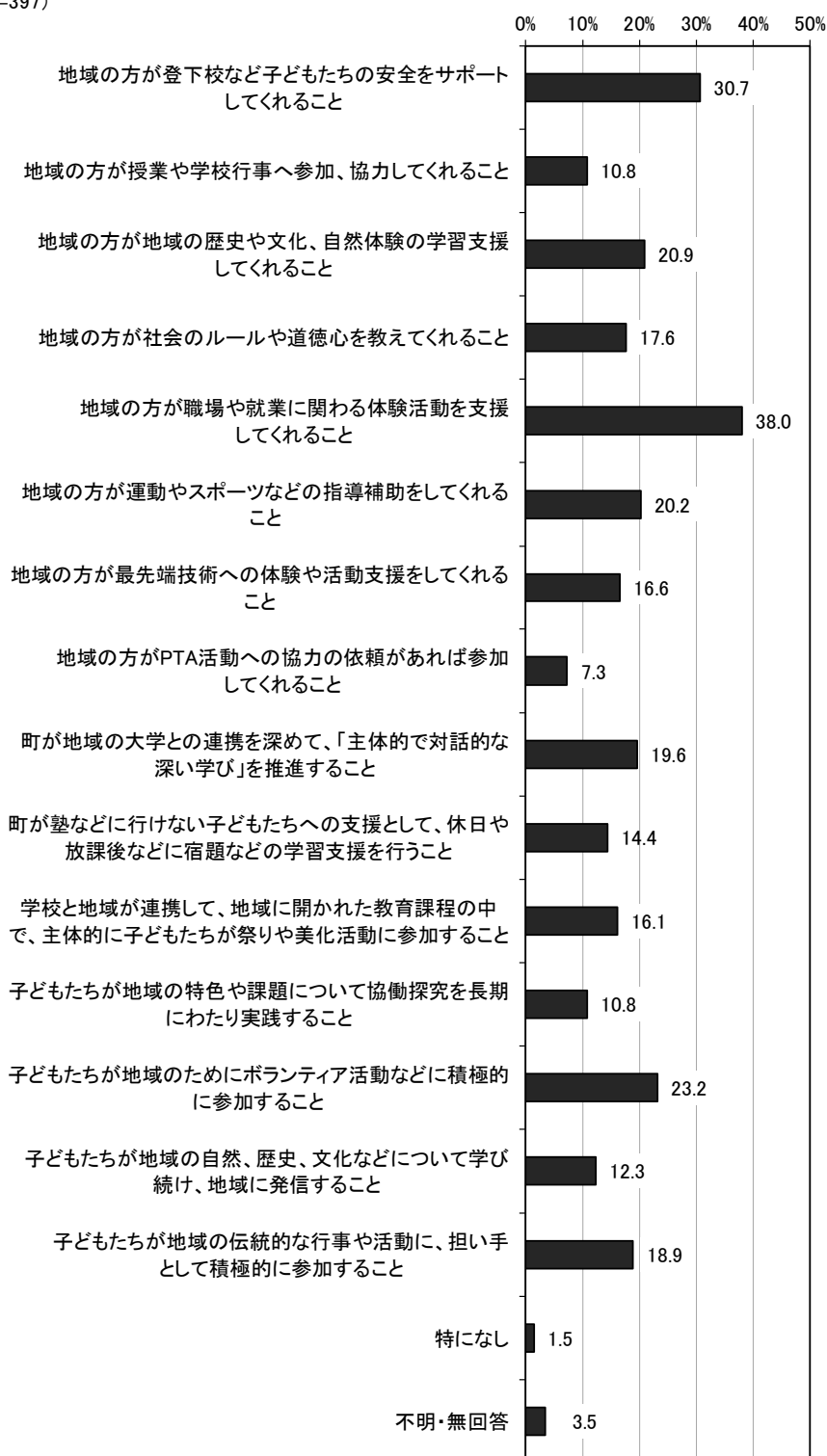
(N=397)



(2) 保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することは、何ですか (3つに〇)

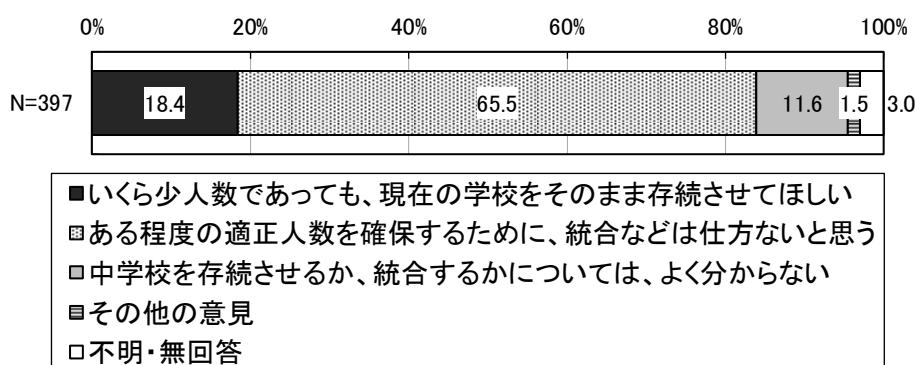
子どもたちと地域との関わりについて期待することについてみると、「地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること」が38.0%と最も高く、次いで「地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること」が30.7%、「子どもたちが地域のためにボランティア活動などに積極的に参加すること」が23.2%となっています。

(N=397)



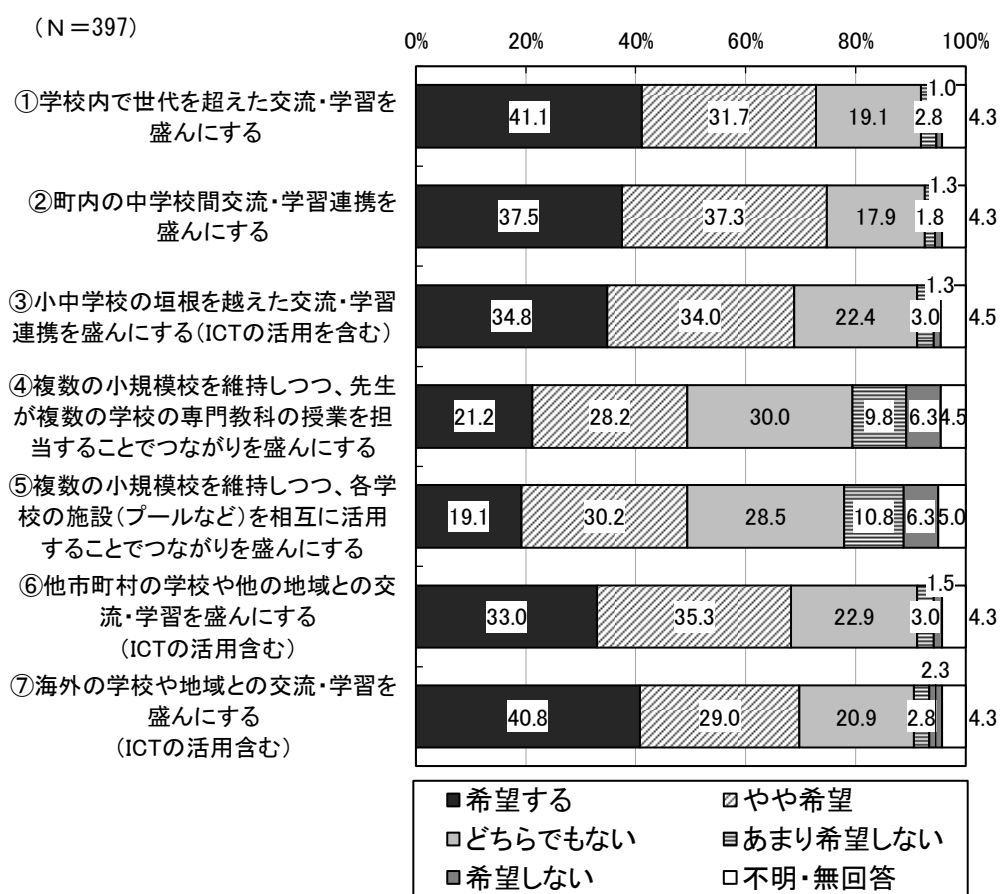
(3) 子どもたちのよりよい成長、発達のためには、一定の人数が必要であることから、廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないか、ということについて（1つに○）

廃校や休校による統合などもやむを得ないと思うか、思わないかについてみると、「ある程度の適正人数を確保するために、統合などは仕方ないと思う」が65.5%と最も高く、次いで「いくら少人数であっても、現在の学校をそのまま存続させてほしい」が18.4%、「中学校を存続させるか、統合するかについては、よく分からない」が11.6%となっています。



(4) 将来的に生徒数が減少した際に、町の対応として希望すること
(項目ごとに1つに〇)

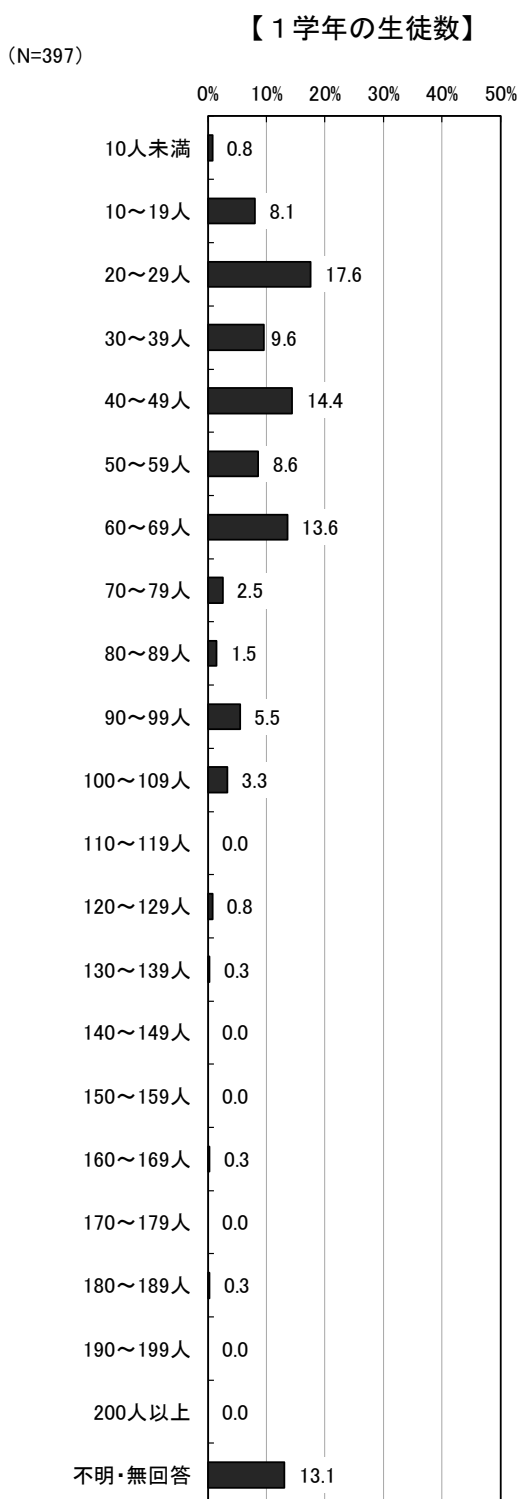
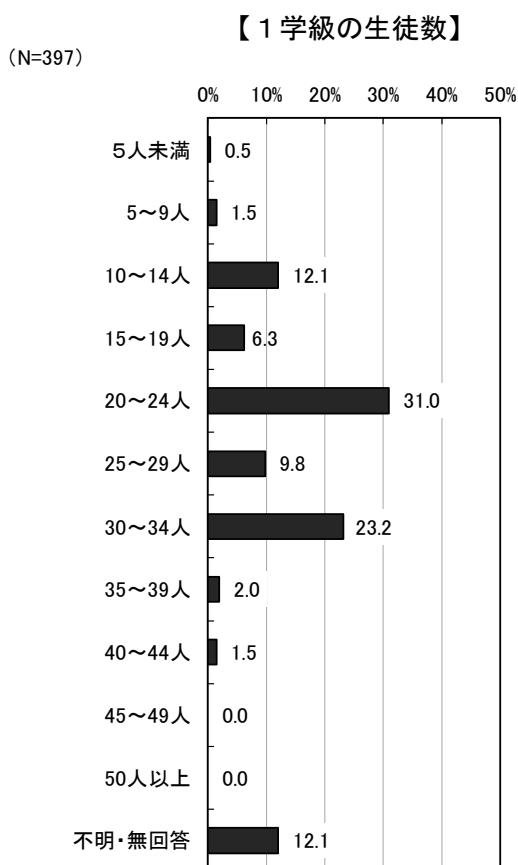
将来的に生徒数が減少した際に、町の対応として希望することについてみると、希望する(『希望する』と『やや希望』の合計)では「②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする」が74.8%、「①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする」が72.8%、希望しない(『あまり希望しない』と『希望しない』の合計)では「⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設(プールなど)を相互に活用することでつながりを盛んにする」が17.1%、「④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする」が16.1%と高くなっています。



(5) 1学級の生徒数・1学年の生徒数について、あなたが最低限必要だと思う人数
(数量回答)

最低限必要だと思う人数についてみると、1学級の生徒数では、「20～24人」が31.0%と最も高く、次いで「30～34人」が23.2%、「10～14人」が12.1%となっています。また、1学年の生徒数では、「20～29人」が17.6%と最も高く、次いで「40～49人」が14.4%、「60～69人」が13.6%となっています。

■最低限必要だと思う人数



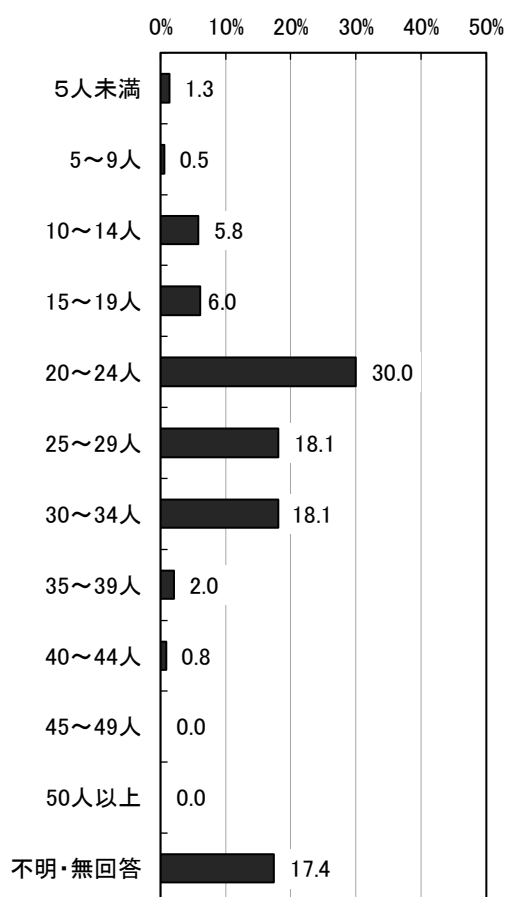
(5-1) 1学級の生徒数・1学年の生徒数について、あなたが適正だと思う人数
(数量回答)

適正だと思う人数についてみると、1学級の生徒数(何人～)では、「20～24人」が30.0%、1学級の生徒数(～何人)では、「30～34人」が42.1%と最も高くなっています。また、1学年の生徒数(何人～)では、「60～69人」が14.9%、1学年の生徒数(～何人)では、「100～109人」が13.6%と最も高くなっています。

■適正だと思う人数

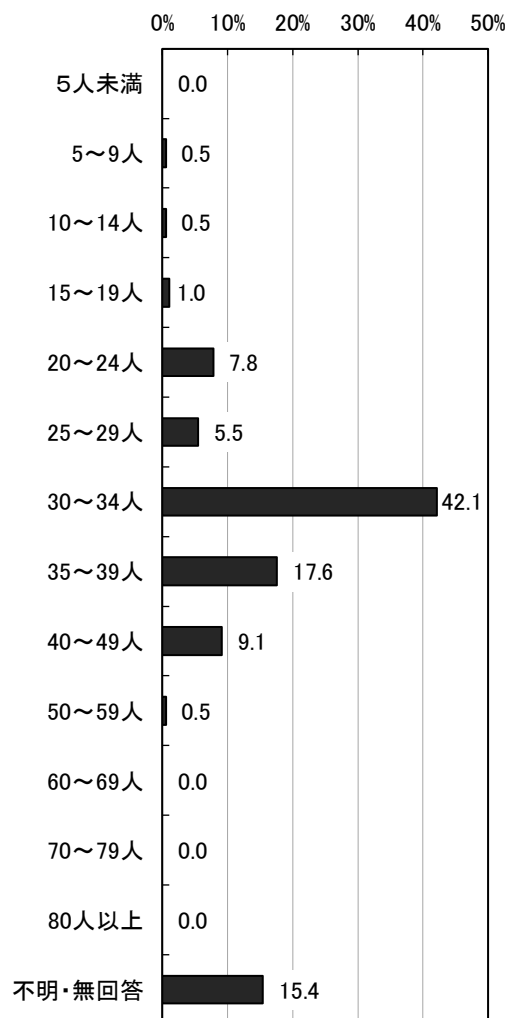
【1学級の生徒数(何人～)】

(N=397)



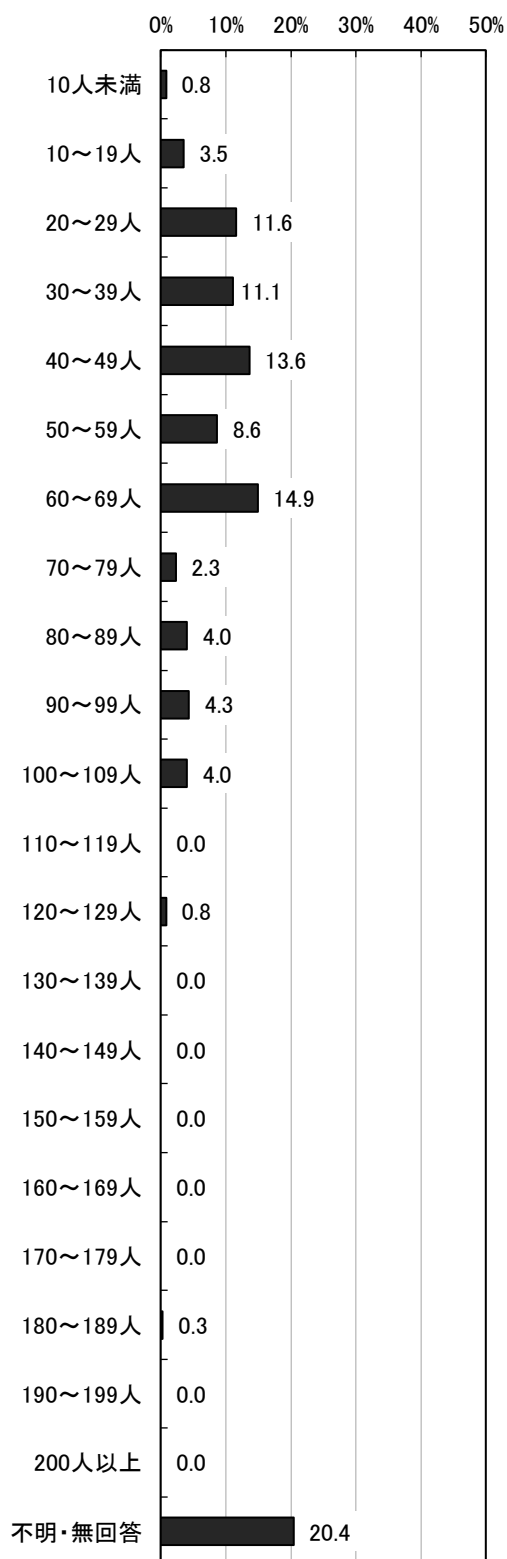
【1学級の生徒数(～何人)】

(N=397)



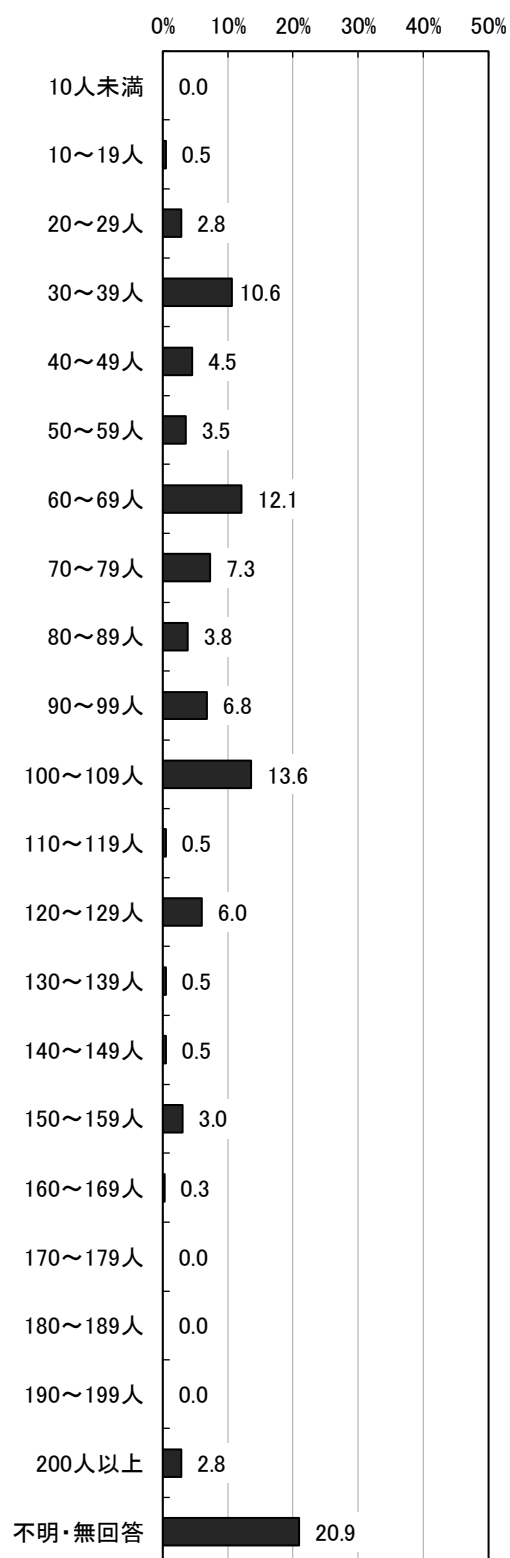
【1学年の生徒数（何人～）】

(N=397)



【1学年の生徒数（～何人）】

(N=397)



(6) もしも、将来、お子様が通学する予定の中学校が統合され、廃校、休校となった場合、あなたはどのようにしますか(1つに○)

中学校が統合され、廃校、休校となった場合についてみると、「今まで通り住み続ける」が73.0%と最も高く、次いで「どうするかわからない」が21.9%となっています。

